

## 研修報告

### グローバル研修：研修部企画研修

- ◆テーマ：2021 年度 介護報酬改定説明会
- ◇配信方法：YouTube によるオンデマンド配信
- ◇配信期間：2021 年 3 月 27 日～4 月 11 日
- ◇講師：株式会社スズケン 卸事業本部副部長 岡山 幸司 氏
- ◇目的：2021 年の介護報酬改定に示された医療と介護の連携強化や MSW 業務に与える効果と影響、その対応を学び、理解を深めることを目的としました。
- ◇参加人数：128 人
- ◇講師への質問者数：2 人

#### ◇アンケート コメント紹介◇ ～一部抜粋～

- ・今回の改正において重要なポイントである LIFE について、総論的な解説を大変わかりやすく再確認することが出来た。今後の業務において、ICT の活用が今までより重要視され、国が示す方向性も明確化されたと感じることが出来た。
- ・医療介護の連携、看取り対応や自立支援・重度化防止に、機関を越えて連携・連動しながら推し進めていく形になっている改定であることがよくわかった。LIFE のようにデータで客観的視点をを用いながら効果を図っていくのが、今後も当然になっていくのだと感じた。
- ・介護報酬改定の大枠を学べました。ただ一つ一つの細かな改定内容を理解するには至らなかったです。オンラインの長所である「期間中は何度も視聴ができる」を活用させていただいて、いただいた資料と共にもう一度勉強したいと思います。
- ・人生の最終段階のガイドラインが取り入れられた点、訪問看護や居宅ケアマネジャーの終末期の計画後の急変に対する処遇、看取り対応加算の改定で、介護保険下での終末期ケアがさらに推進されることになり、病院ではなく、在宅や地域の施設で最期を迎えるケースが増えていくと思われる。私達 MSW が病院から地域への橋渡し役としての役割を担う必要がある。
- ・緊急措置的な対応がより可能になるような緩和と共に、コロナ渦で一気に進んだ ICT の対応を評価されており、より現場に即した改定になっていると思われる。また、より医療と介護の連携強化や心身状況の改善に報酬が追加されていることを考慮すると、これまで以上に介護関係者との連携が重要になってくるものと思われ、求められることも多くなっていくのだと感じた。

#### 研修部企画研修を振り返って

研修部 本多 明美

研修部企画研修は、昨年度開催の診療報酬改定説明会に続き、オンライン開催としました。YouTube によるオンデマンド配信は、期間内に受講者の都合に合わせて何度でも視聴ができて個別学習としての理解を深められ、遠方の研修の参加が可能となる等がよい点です。一方で、参加者同士がその場で学びを共有できなかったり、講師へその場で質問することができないことが課題としてあげられます。そこで、今年度は、視聴後アンケートで質問を受け、講師に回答いただくことを試みました。

いつもながら、的確でわかりやすい講義動画を提供いただいた岡山講師に感謝申し上げます。